

秘書・総務に期待される知識と応用力の向上
～垣根を越えたネットワークづくり～

秘書・総務（なごや会） 研究部会 2025

2025年度 秘書・総務研究部会(なごや会)

メンバー相互がなごやかな雰囲気のもと秘書・総務業務をテーマに親睦と交流を深め、秘書・総務業務の円滑な推進と向上を図ることを目的に1967年1月に設立されたなごや会は、本年も企業ネットワークの創出と人的交流を通じて、新たな情報ソースの確立等、様々な情報提供の場を目指し活動を進めて参ります。とりわけ、企業経営を取り巻く環境について、常にアンテナを高く持ち続け、企業価値を向上させていくための秘書・総務に求められる知識と資質とスキルについて考えるべく、多方面からの情報提供と異業種交流の視点から、なごや会のネットワークをフル活用し例会運営を進めて参ります。

第1例会

アイデアと意識改革による復活劇

と き 2025年 5月19日(月) 18:30~20:00

参加方法 ① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テーマ **「お金をかけずにアイデアで流れを変える!!」**

～崖っぷち水族館の復活劇～

講 師 竹島水族館

館長

小林 龍二 氏

視 点

蒲郡市にある竹島水族館は2010年には年間の来場者数が12万3000人と過去最低を記録し、閉館の危機に直面しました。しかし2019年には過去最高の47万人まで来場者数を増やし2024年10月には拡大リニューアルオープンを果たすなど、劇的な復活を遂げ、今なお変革を続けています。この見事な復活劇の裏には、2003年に唯一の新卒職員として働き始めた現館長・小林氏が、少ない予算と人員の中でアイデアを絞り出してお客様が喜ぶ展示を考案・実現し、さらに改革を進める際に直面した周囲の反発を乗り越え、意識改革と理解を得るために尽力されました。本例会では小林館長をお招きし、改革の道のりとその思いについてお話を伺います。

第2例会

自分の言葉で相手に伝える力

交流会
あり

と き 2025年 7月15日(火) 18:30~21:00

参加方法 ① 会場 (名古屋東急ホテル)
② オンライン (Zoom)

テーマ **「「好き」を言語化する技術」**

～推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい!」しかでてこない～

文芸評論家

講 師 京都市立芸術大学

非常勤講師

三宅 香帆 氏

視 点

ベストセラー『「好き」を言語化する技術』の著者であり、文芸評論家として活躍する三宅氏をお招きし、自分だけの言葉で思いを伝える方法についてお話しいたします。同書では、語彙力や文章力に頼らず、自分の感動を言葉にするちょっとしたコツが紹介されています。とりわけビジネスシーンにおいても、自分の言葉で物事を語り、相手に思いを伝える力は、プレゼンや交渉、日常のコミュニケーションなど、さまざまな場面で求められる重要なスキルです。本例会では、凡庸な表現から脱却し、自分の言葉で的確に伝える方法について、三宅氏にお話をうかがいます。

第3例会

企業事例と意見交換会

と き 2025年 9月5日(金) 15:00~17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

※通年の実施時間と異なります。会場参加のみです。(オンライン無し)

テーマ **「KDDIの新しい秘書のあり方と人材育成」** (仮題)

講 師 KDDI(株)

秘書室管理職

視 点

時代とともに秘書の役割・働き方について変化が求められています。本例会では、KDDIの秘書部門の方をお招きし、同社における秘書の役割や働き方についてお話をいただくとともに、ご参加の皆様の秘書業務における、課題、悩みの意見交換会を開催し、これからの秘書あり方についてヒントを探って参ります。

参加者
意見交換会

「秘書業務における課題、悩みの意見交換」

2025年度 幹事

当研究部会の企画立案・当日運営などの中心的な役割をお務めいただいております。

中京テレビ放送(株) 経営企画局秘書部長
(株) トーエネック 執行役員秘書部長
豊田通商(株) 秘書部部长
リンナイ(株) 秘書室長

安部 真弥子 氏
松村 渉 氏
照井 大作 氏
安藤 厚史 氏
(組織名五十音順)

幹事会

第1回

とき

2025年 7月4日(金)

第2回

とき

2025年 11月6日(木)

第4例会

地域活性化・地元の手土産

とき 2025年 10月22日(水) 18:30~20:00

参加方法 ① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テーマ 「地域を食べる、地域をアゲる、地域へ還す。」

～中部にはこんな良いものがある～

名鉄商店

講師 (株)名鉄生活創研

名鉄商店事業部長

山口 寛 氏

視点 名鉄商店は地域の魅力・価値に目を向け、これを消費につなげ、人々に生活、街を楽しんでもらうきっかけを提供するべく、「地域を食べる、地域をアゲる、地域へ還す。」をコンセプトに2022年にオープンしました。本例会では名鉄生活創研 山口氏より、名鉄商店の立ち上げの背景や、オリジナル商品開発の裏側にあるエピソードや、地元ならではの魅力的な手土産についてお話をうかがいながら、地域活性化の取り組みを学び、地元の魅力を再発見する機会となるべく開催いたします。

第5例会

秘書の横のつながり

交流会
あり

とき 2025年 12月3日(水) 18:30~21:00

ところ 名古屋観光ホテル

テーマ 「秘書として幅広い教養を高める」

～秘書・総務の新たな人脈づくり、ネットワーク拡大・活用のために～

視点 本例会では、秘書としての幅広い視点から教養を高める機会を設け、さらには異業種交流の視点から、情報交換交流を実施し、「なごや会」のめざす組織を越えたネットワークづくりやその拡大、活用を図ります。

特別例会

とき 2025年 11月15日(土)

ところ 多治見カントリークラブ

テーマ 「ネットワークづくりと健康志向のために」

※特別例会へご参加される場合は1名につき別途実費をご負担願います。

秘書・総務 研修セミナー

とき 2025年 7月10日(木) 9:30~17:30

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

テーマ 「秘書・総務の心構えと業務の基本」

～社内外から信頼される、秘書に必要なセンスを磨く～

※上記セミナーへご参加される場合は別途参加費を頂戴いたします。

参加費 秘書・総務研究部会(なごや会)登録組織は 25,300円(税込) / 1名

※なお、講師等の都合により、若干の日程変更となる可能性があります。また、各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にご案内いたします。

申し込み方法

中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/pages/121/>

中部生産性本部

検索

※ 昨年度登録されている場合、別途ご案内いたします。

申し込みページ



開催要領

と き 2025年5月19日(月)～2025年12月3日(水) (年間5回・特別例会1回)

参加方法

- ① 会場 または オンラインの選択制 (第1例会、第2例会、第4例会)
- ② 会場 のみ (第3例会、第5例会)

年間登録費

一般財団法人中部生産性本部 会員組織 69,300円 } 1組織2名登録
一 般 組 織 126,500円 } 資料代・消費税含む。

※ 尚、交流会を実施する例会では、登録者・代理参加者を問わず、ご出席の人数に応じて以下の通り実費を別途頂戴いたします。(予定)

第2例会・・・3人目から1人につき11,000円

第5例会・・・3人目から1人につき11,000円

- ① 年間登録費につきましては、請求書に記載の振込み期日までにお振込み願います。
なお、振込手数料については、お客様にてご負担願います。
- ② キャンセルは5月12日(月)までをお願いいたします。
5月13日(火)以降は登録費の払戻しをいたしかねますのでご了承ください。
- ③ 特別例会につきましては、別途実費負担とさせていただきます。

対 象

秘書・総務担当部門責任者及びスタッフの方々(秘書部、総務部等)

申込締切日 2025年5月12日(月)

運営方法

- ① 各例会はご登録組織におけるメンバー制にて運営いたします。
- ② 各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にEメールでご案内いたします。
- ③ 各例会への出席は2名まで可能です。(代理出席可)
- ④ 録画の配信は許可いただいた講演のみ、後日登録者の方にご案内いたします。(期間限定)

注意事項

下記事項を確認、同意の上、お申込みをお願いします。

- ① 講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更をさせていただく場合がございます。ご了承ください。
- ② 講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。
- ③ (オンラインの場合) 当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再送信や返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 登録者並びに代理参加以外のご参加はご遠慮願います。(オンラインの場合、視聴URL等は参加されるご本人のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。)
- ⑤ 本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

お問い合わせ先

一般財団法人 中部生産性本部 《<https://www.cpc.or.jp/cpc/>》

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階 TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

● 担当 / 春田・雲井・中川